

司法試験 合格者の皆さん

カッコ内は修了年、または在学年



増井 達也さん
(令4)



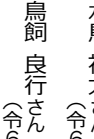
山田 大樹さん
(令5)



梶野 瑠里子さん
(令6)



水鳥 祐太さん
(令6)



鳥飼 良行さん
(令6)



朝 健司さん
(令6)



佐藤 智哉さん
(未修3年次)



堀江 元彦さん
(既習3年次)



吉田 奈央さん
(既習3年次)

合格者インタビュー

初の法学部早期卒業制度で、3年次で学部を卒業し、法科大学院既卒者コースに進みました。学部入学時から法学を志していたので、1年でも早く、法科大学院で学ぼうと思ったからです。

ただ、法科1年目の前期は苦勞しました。周りは自分より長く法律の勉強をしている人ばかり。また、教員との質疑応答を通して学びを深めるソクラテス・メソッドなど、法科ならではの授業にも戸惑いました。予習復習をしっかりと、自分に何が足りないか確認することで、実力をつけていくことができました。

水鳥 祐太さん

会って相談できる弁護士に

専修大学法科大学院は少人数で、教員との距離が近く、学生の質問や要望にも熱心に応えてくれます。自主ゼミで司法試験の過去問を添削してもらい、それを繰り返すことで理解を深めていきました。同年代の仲間とともに勉強したことも、刺激になりました。

学部入学から司法試験合格まで約5年半。一年一年はつらかったけれど、振り返ればあっという間でした。あまり深刻にならずに、その時の自分に合った選択を重ねて、ここまで来ることができました。これからは、法曹を目指したときに描いた「気軽に会って相談できる弁護士」を、目指していきます。

商・高橋裕教授

政策フォーラムでSDの意義を解説

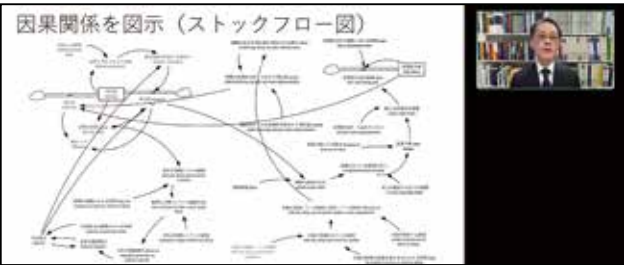
内閣府経済社会総合研究所（ESRI）主催の政策フォーラムが11月8日、オンラインで開催され、商学部の高橋裕教授がパネリストとして登壇した。

同フォーラムは、学者や有識者を招き、経済政策上の重要な問題について専門的見地から意見を交わしている。87回目の今回は「システムダイナミクス×AIを用いた将来展望」をテーマに、人口・環境・国際経済に関

用が専門の高橋教授は、議論の核となる「システムダイナミクス（SD）」の基本的な考え方や今日的意義を解説した。

地球規模の複雑な課題に取り組むためにはシミュレーションの利用が効果的である。SDは、複雑なシステムをコンピュータシミュレーションで分析する手法で、検討対象となるシステムの特徴と効果的な介入方法を知ることができる。

オンラインで講演する高橋教授



高橋教授は「多様な当事者がいる今、不確実を織り込んだ対応が必要」と指摘し、さまざまな想定を織り込んで予測を行うモンテカルロ・シミュレーションの手法でリスク評価することの意義を説明した。当日の録画は、内閣府のサイトで公開されている。

社会心理学者 小坂井氏が講演

“常識”と“矛盾”について語る

人間科学部で開講されている「社会意識論2」演会「矛盾の効用 常識（嶋根克己教授）の一環を閉すための方法論」が11月22日、生田キャンパスで小坂井敏晶氏をゲストで行われた。



「タブーに真摯に向き合い、考えることが大切だと学生に語り掛けた小坂井氏

小坂井氏は在任で社会心理学を研究、昨年末までパリ第8大学で准教授を務めた。新たな日本人論を構築し、「民族という虚構」「矛盾と創造」など著書多数。

冒頭、嶋根教授は小坂井氏と小中学校の同級生だった縁が今回の講演につながったエピソードを紹介し、「社会、人間とは何か、意識は何にとらわれているのかを考えるいい機会にしてほしい」と開講意図を述べた。

小坂井氏は「常識から逃れて新しい知見をもつことが大切だ」と述べ、常

学生からの質疑に応じる小坂井氏



識と矛盾について語った。最後に自分自身の思考

アプローチと「どちらかの理論が誤り」「条件ごとに見直し矛盾を解く」の三つがあるが、前提を見直すことが最も大切だと語り掛けた。

また、差別の問題に関しては「差別は抑圧と支配によるもの」とされてきたが、本当だろうか、と、日本の西洋化を挙げながら学生たちと格差はなくならないが、その中で人はどのように生きていくのか。正解はないかもしれないが常識にとらわれず自分の頭で考えてほしい」と結んだ。

文・米村教授が受賞

日本アニメーション学会賞



米村みゆき文学部教授が「日本アニメーション学会賞2024」を受賞した。

受賞したのは、専修大学研究助成として取り組んだ書籍『映像作家宮崎駿（視覚的文学）として』のアニメーション映画の文化論が専門。

日本のアニメーションの中でも特に人気の高い宮崎駿監督作品について、さまざまな資料を駆使した精緻な分析により、宮崎駿監督の脚色の手法を初めて明らかにし、「視覚的文学」として位置付けた。

11月2日、北海道で表彰式が行われた。

米村教授は日本近現代文学、アニメーション文化論が専門。

学習指導要領をテーマに語った安彦さん



（佐々木重人会長の第72回大会が11月24日、神田キャンパスで行われた。正会員に加え、準会員の教職課程を履修する学生ら約300人が出席し、教育現場の課題について意見を交わした。

今回は、信州大学理事・事務局長で元文部科学省大臣官房審議官の安彦広希さん（平4法）による講演会と、会員による研修会（実践報告）が行われた。

安彦さんは、GIGAスクール構想などデジタル化の背景を解説。現在の学習指導要領

専修大学教育学会 第72回大会を開催

小中学校の教員や教育界で活躍する卒業生らでつくる専修大学教育学会（佐々木重人会長の第72回大会が11月24日、神田キャンパスで行われた。正会員に加え、準会員の教職課程を履修する学生ら約300人が出席し、教育現場の課題について意見を交わした。

今回は、信州大学理事・事務局長で元文部科学省大臣官房審議官の安彦広希さん（平4法）による講演会と、会員による研修会（実践報告）が行われた。

安彦さんは、GIGAスクール構想などデジタル化の背景を解説。現在の学習指導要領

付属3校が公開模擬裁判

専修大学付属高校、専修大学松戸高校、専修大学北上高校の生徒58人が参加した公開模擬裁判（エクステンションセンター主催、東京弁護士会協力）が11月16日、神田キ

自熱の法廷劇



付属3高の生徒が参加して行われた公開模擬裁判

最終講義のご案内

■ 伊藤 和憲 商学部教授
日時：2025年1月25日（土）
2時限目（10:45～12:15）
場所：神田キャンパス10号館 10031教室（黒門ホール）
*詳細は、in Campusでお知らせします

計 報

田中貞夫氏（たなか・さとし）名誉教授・元経済学部教授 9月17日、82歳で死去。1980年から2012年まで在職。専門は化学。

古川純氏（ふるかわ・あつし）名誉教授・元法学部教授 12月7日、83歳で死去。1988年から2012年まで在職。専門は憲法。